

平成25年行政事業レビューシート (復興庁)							
事業名	復興状況の把握のための統計データベース更新及び充実等に関する調査事業		担当部局	復興庁		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	統括官付参事官(調査担当)		参事官 岡 朋史	
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>○ これまで復興庁では、東日本大震災からの復興状況の把握手段として、復興状況に関連する指標の検討を行い、復興関連指標のデータベースを作成しているところ。</p> <p>○ 本調査では、統計データや政策効果等の客観的なデータ、及び被災地の実態に基づいて、復興状況を適切に把握し、復興に関し議論を行う際の基礎資料として活用することを目的とする。</p>						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>① 復興関連指標に基づくデータベースの更新等</p> <p>○ 86項目の復興関連指標、時系列(各月、四半期、年)、地域(被災3県の全市町村及び特定被災地域214市町村、被災各県、全国)ごとにデータベースの更新作業を行う。(新しいデータは公表されるたびに更新)</p> <p>○ 既に盛り込まれている指標に加えて、新たに復興関連の指標となるデータの検討、追加(各自治体や復興関連の団体がアドホックに実施された調査も含む)</p> <p>② 復興関連指標の動向要因の把握</p> <p>○ 復興関連の指標の動向要因を把握するために、グラフや図表等を用いて毎月レポートを作成する。例えば、過去との比較や、被災各県あるいは沿岸部内陸部といった地域間の比較において、特徴的な動きが見られた場合においては、その背景を含めた要因を解説する。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算の状況	当初予算					6
		補正予算					
		繰越し等					
	計						6
執行額							
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本事業は復興状況を把握する調査・分析を行うものであり、その効果を定量的に示す指標を設定することはできない。		成果実績				
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	データベースにおいて追加・更新した復興関連指標の数		活動実績 (当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	復興状況の把握のための統計データベース更新及び充実等に関する調査事業		6				
	計		6				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	国としてリアルタイムで復興状況に関するデータを把握する必要があり、また復興という観点から横断的・体系的にデータを把握する必要があるため、国において本事業を行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	復興という観点から横断的・体系的にデータを把握し、長期的・大局的な復興施策に向けた材料とすることを目的とするものであり、復興支援のために必要な経費である。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
統計データ等復興状況を適切に把握し、復興に関し議論を行う際の基礎資料として活用するため、効率的・効果的な事業の実施に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年